

一般社団法人

新宮青年会議所

2023年度JCNEWS

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

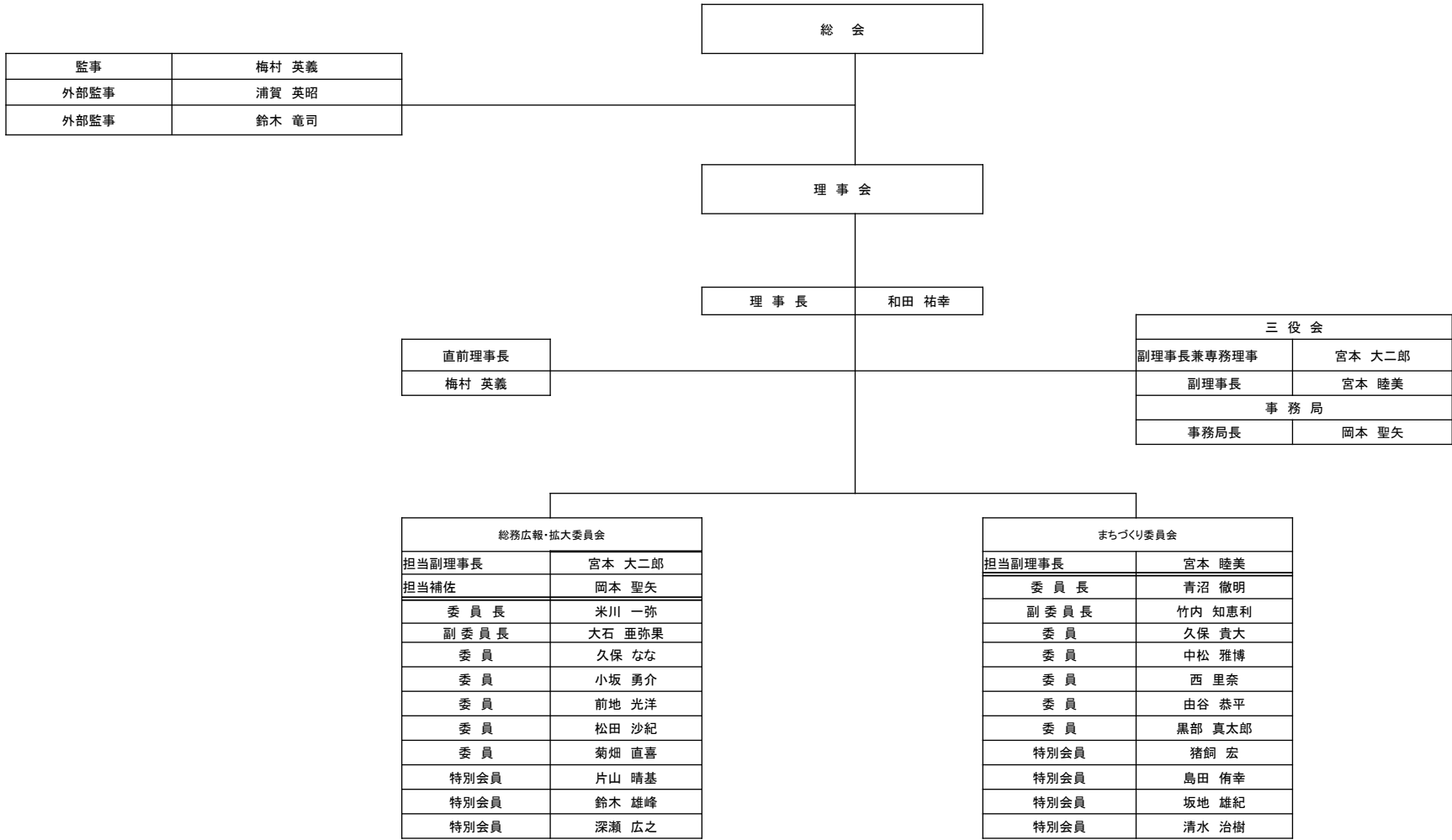


挑 戦

目次

- ・ 組織図
- ・ 2023年度理事長紹介
- ・ 2023年度理事長所信
- ・ 2023年度総務員会紹介
- ・ 2023年度総務委員会基本方針
- ・ 2023年度まちづくり委員会紹介
- ・ 2023年度まちづくり委員会基本方針
- ・ 活動内容
- ・ 2023年度理事長所感
- ・ 2023年度総務委員会委員長所感
- ・ 2023年度まちづくり委員会委員長所感

一般社団法人新宮青年会議所2023年度組織図





理事長紹介

- ・プロフィール

氏名：和田祐幸

勤務先：和田紙工所 代表

趣味：釣り・キャンプ

信条：己に打ち勝つ

理事長所信

【はじめに】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界的な流行を見せて3年の月日が流れ、私たちや地域住民の生活様式は大きく様変わりすることとなり、仕事や友人たちとのコミュニケーションのあり方、青年会議所運動のあり方についても制約を余儀なくされました。このような時代だからこそ、原点に返り「明るい豊かな社会の実現」に向けてメンバー一人ひとりがJC運動の本質や地域社会の課題について考え、時代に合わせて私たちも挑戦していく必要があるのではないのでしょうか。長きに亘り脈々と光り輝いてきた新宮青年会議所は、混沌とした社会情勢をも打ち砕く品格ある地域社会のリーダーを創出する団体として、地域の課題解決を行い私たちが目指すまちづくりに挑戦して参りましょう。

【会員拡大・育成について】

新宮青年会議所では、卒業生の増加や会員拡大の成果が恵まれていない状況が続き、会員は減少傾向にあります。更に本年度新宮青年会議所を引率してきたメンバーが卒業を控える中、会員拡大は急務な事業となります。従来の会員拡大を見つめなおし、会員拡大成功事例を検証し、新しい会員拡大の手法を学び実行していく事に大きく舵を切るべきではないでしょうか。理念を共にする仲間が増える事で、会員の資質が上昇し、全ての会員がLOMを担っていくリーダーとして成長することで、組織の絆はより強固になると確信します。メンバー全員で拡大に励みましょう。

【総務広報について】

例会運営はメンバーの意識統一の場であり一つひとつに意味があります。そのことをメンバー全員が自覚し、志を同じくするものが相集う機会を大切なものとして捉えることで、メンバーが**JAYCEE**として自覚し、組織をより強固なものに成長させます。また、私たちがまちづくり事業をするにも拡大事業をするにも広報が無ければ何をやっている団体であるかを世間は知ることが出来ません。**SNS**やホームページを屈指した活動報告は、私たちの**PR**となり組織の発展に繋がります。

メンバー全員で新宮**JC**を**PR**していきましょう。

【まちづくりについて】

近年、人口の流失や不安定な社会情勢は人々の繋がりが薄れさせ、利他の精神すら育まれなくなって参りました。私たちの活動拠点である熊野地方は雄大な大自然と世界に誇る悠久の世界遺産が多く存在します。先人たちが愛してやまない熊野を世界に発信し、都会にない美しさや田舎でしかない成長の機会を通して、未来ある子どもたちが故郷を振り返ることの出来るまちづくりを行う事こそ、利他の精神に溢れる持続可能なまちづくりになると確信します。
メンバー全員で地域社会の課題解決を実行しましょう。

【結びに】

私が青年会議所に入会させて頂いた時、一人の先輩から「やってないのに出来ないって言うなよ。一緒にやってみようよ」という言葉をかけて頂きました今、私の行動を振り返った時、この言葉通りに活動していたか問われると自信はありません。出来の良い会員であるかと言われるとそんな事ありません。一人の新宮青年会議所メンバーとして、信じあう仲間とともに地域社会の課題と新宮青年会議所にある課題を解決し、明るい豊かな社会の実現に向け未来を切り拓くJAYCEEの一人として仲間とともに挑戦してまいります。

スローガン



重点事業計画

- 1・会員の増強
- 1・まちづくり事業の開催
- 1・青少年育成事業の開催
- 1・会員開発セミナーの開催
- 1・会員交流事業の開催
- 1・組織力の強化
- 1・例会事業の開催
- 1・地域への情報発信
- 1・新たな組織運営
- 1・他団体への協力
- 1・その他派生する事項

委員会紹介

総務広報・拡大委員会

委員長	米川 一弥		
副委員長	大石 亜弥果		
委員	久保 なな	小坂 勇介	松田 沙紀
特別会員	片山 晴基	鈴木 雄峰	深瀬 広之



委員長 米川 一弥

委員会基本方針

総務広報・拡大委員会

【基本方針】

新型コロナウイルスの蔓延からまもなく3年が経過しようとしており、今まで当たり前であった価値観は大きく変わりました。その中で、Zoom等によるオンライン化は加速し、人との繋がりが減少しコミュニケーションが希薄になりました。新宮青年会議所において近年、会員減少に歯止めがかからず、2023年度の会員数は16名となります。組織を拡大していくうえで、発信力を強化することが重要です。また、近年は今までの若者に比べると個性的な方が多いです。団体として同じ価値観を持ち一致団結することはもちろん、各々が自立した組織を作っていくことが重要になると考えます。

総務広報・拡大委員会では、トップダウン重視ではなく、ボトムアップを採用する場面を増やし、若手会員が事業を積極的に提案しやすい雰囲気を作っていきます。そして、会員が活動しやすい環境を作り、発信力の強化に力を入れ、誰もが入会したくなる組織を目指し、入会後も有意義に活動できる組織を目指します。さらに、広報に関しては、当団体にはどんな人がいるのか。会員はどんな仕事をしていて、どんな生活を送っているのか。そのような新たな発信内容も行います。SNSには媒体によって役割が異なるため、伝えたい年齢層や内容によって適切に使い分け最大限の効果を発揮できるよう努めて参ります。

また、利他の精神あふれる人財を育成するため、次代のリーダーを育て地域の未来の宝を創造します。
2022年度では多くの会員が卒業され、メンバーが少なくなりました。更に、活動エリアが熊野市まで広がったことで、より大きい規模での事業が可能となり、今後の当団体の発展のためにも本年度は今までより総務・広報に力を入れていきたいと思えます。長年、先輩方が築き上げてきた歴史を次の世代へと継承していけるよう、会員全員が、主体的に活動できるよう誠意と熱意をもって挑戦していく所存です。

委員会紹介 まちづくり委員会

委員長	青沼 徹明			
副委員長	竹内 知恵利			
委員	久保 貴大	中松 雅博	西 里奈	
特別会員	猪飼 宏	坂地 雄紀	島田 侑幸	
特別会員	清水 治樹			



委員長 青沼 徹明

委員会基本方針

まちづくり委員会

【基本方針】

創立54年を迎える新宮青年会議所は、多くの先輩方や地域の方々の方で存続してきました。昨今、都市部への人口流出や新型コロナウイルスによる不安定な社会情勢によって、近隣地域において親密な人間関係を結ぶ機会が減少した事もあり、人との繋がりが薄れ利他の精神が育まれなくなった事から、人を想い他人の為に行動する心を育むためには、人との触れ合いが必要不可欠であると考えます。私たちの住む熊野地方の魅力を再認識し、その中で人と交流してもらいながら地元の魅力を発信していく必要があります。

まずは、まちづくり委員会がしっかりと地元の魅力を学び、地域の人々や子供たちに豊かな自然の中で自分たちの住む地域の魅力を再認識していただき、人への感謝や学びのある事業を実施します。そうする事で子供たちに利他の精神が育まれ、継続的な努力や人を想い他人の為に行動できるようになると考えています。

本年度のスローガンである「挑戦～未来を切り拓く JAYCEEとして～」という気概を持ち、私たちの運動が地域の人々を巻き込み共感を得る事によって地域の連携が強固になり魅力あるまちになると確信しています。

活動報告 1月①

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



一般社団法人新宮青年会議所2023年度新春年賀会が熊野速玉大社で開催されました。新型コロナの蔓延も重なり少数での参加となりましたが、メンバーの家内安全と地域発展を願いと共に新たな挑戦の1年間がスタート致しました。



一般社団法人新宮青年会議所三役メンバーが新宮市田岡実千年市長を表敬訪問させて頂き、新年の御挨拶と今後の活動への協力をお願いさせて頂きました。田岡市長自身も青年会議所の卒業生である事から、現役メンバーへの激励を頂き色々のご相談もさせて頂きました。

活動報告 1月②

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

The logo for 'Challenge' (挑戦) is written in large, stylized Japanese characters. The characters are white with a blue outline and are set against a circular background that resembles a rising sun or a globe with rays of light.

2023年度京都会議が京都の地で開催され、新年式典や総会に参加させて頂きました。全国より青年会議所メンバーが集い、各種セミナーを受講し学び多い一日となりました。



1月31日通常総会が開催され、2023年度事業計画並びに収支予算が全会一致で可決され、いよいよ本格的に運動が展開されます。1年間挑戦の年が始まります。

活動報告 2月

～森を切り拓く
JAYCEEとして～



飛雪の滝キャンプ場で2月担当例会事業を開催してしました。火おこし対決を行い、1番早かったメンバーにはご褒美に和牛ステーキが振る舞われ、みんなで鍋を囲みながら会員交流を行いました。

活動報告 3月

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



新宮青年会議所3月例会を開催しました。
歴代理事長である松原先輩と鈴木先輩を講師としてお招きし、それぞれのテーマに沿ってお二人のお考えや現役会員の悩みに真摯に向き合っていました。お忙しく足元の悪い中でしたが、メンバーのために尽力頂きありがとうございました。

活動報告 4月

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

The logo for 'Challenge' (挑戦) is written in large, stylized black Japanese characters. The characters are enclosed within a circular graphic that consists of several overlapping, semi-transparent rings in shades of orange and yellow, creating a sense of motion or a target.

一般社団法人御坊青年会議所創立55周年記念式典並びに祝賀会に新宮青年会議所メンバーで参加させて頂きました！新宮青年会議所も来年度55周年の節目を迎える中で、若手メンバー中心で参加させて頂き学びの多い1日となりました。新宮青年会議所も55周年に向けて邁進してまいります。

活動報告4月

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



新宮青年会議所4月例会を開催し、講師に新宮JC歴代理事長である安達実先輩(スポーツギアアダチ)をお招きして子どもたちの未来を考えようをテーマにボーイスカウトの経験談をお話しして頂きました！長年新宮市並びに周辺地域の青少年育成に尽力された方のお話をメンバーで拝聴し、グループワークでは、「一人前とは」についてメンバーでディスカッションを行いました。

活動報告5月

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



5月担当例会に和歌山ブロック協議会LOM支援委員会議長山田議長を始めとするメンバーの皆様をお招きして会員拡大セミナーを開催しました。セミナー後グループワークにて、委員長や理事長の思いを語る場も設けました。

活動報告6月①

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



公益社団法人日本青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会ブロック大会御坊大会にメンバーで参加させて頂きました。記念式典では、同日開催された会員会議所で承認のあった2024年度和歌山ブロック会長候補者の挨拶もあり、当LOMの梅村英義君が登壇しご挨拶がありました。メンバー一同、新たな挑戦を応援するとともに、記念事業での大きな学びを新宮青年会議所も実践して行きたいと思えます。

活動報告6月②

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



新宮青年会議所6月例会事業、仲之町クリーン作戦を実行しました。事務局を構える仲之町商店街アーケードの柱が犬猫の尿により劣化してしまっている所を青年会議所メンバーと仲之町の皆様で修復しました。雨の日、ワンちゃんのお散歩コースとして定番ですが、せっかく綺麗にしたので、マナー守ってお散歩をお楽しみ下さい。

活動報告7月①

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



近畿地区大会姫路大会に新宮青年会議所メンバーで参加して参りました。近畿の魅力発信のブース出展や各種フォーラムなどが行われ、学びの多い一日となりました。

活動報告7月②

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



サマコン2023が横浜の地で開催され、新宮青年会議所メンバーも参加させて頂きました。全国各地より横浜に集い、各種セミナーに参加して参りました。また、2023年度会頭予定者のスピーチもあり所信をお聞きすることが出来ました。

活動報告8月

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



一般社団法人新宮青年会議所第23回総会が開催され、多数のシニアクラブ先輩が見守る中、2024年度理事長として宮本睦美君が理事長予定者として報告されました。宮本睦美予定者の挨拶がありました。創立55周年の理事長という大役をメンバー全員でサポートし、さらなる団結をしていこうと強く感じました。

活動報告9月

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

The logo for 'Challenge' (挑戦) is written in large, stylized black Japanese characters. The characters are enclosed within a circular graphic that consists of several overlapping, semi-transparent rings in shades of orange and yellow, creating a sense of motion or a target.

9月担当例会として、10月に開催されるキッズスクールリハーサルを行いました。フォトロゲイニングやテント貼りなど、シミュレーションを重ねて準備例会となりました。

活動報告10月①

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



全国大会東京大会が開催され、東京青年会議所理事長下山田敬介君のご挨拶から始まり、麻生会頭からの感謝と喜びの挨拶がありました。その後、プレデンシャルリースが第73代会頭予定者小西毅君へと無事に引き継がれました。さらには2024年度開催地である福岡へと無事バトンが渡されました。最後には監事 青木孝太君から4079名の卒業生を代表して誓いと贈る言葉を頂きました。

活動報告10月②

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

The logo for 'Challenge' (挑戦) is written in a stylized, bold font. The characters are black with a white outline and are set against a circular background that resembles a rising sun or a globe with rays. The text is positioned to the right of the main title.

10/14と15の二日間、紀宝町飛雪の滝キャンプ場にてキッズスクールin飛雪の滝を開催しました。生憎の雨もありテント宿泊を断念して施設泊となりましたが、新宮青年会議所活動エリアから18名の小学校6年生が飛雪の滝に集まり、ランダムで班分けされてフोटロゲイニング、カレー作り、火おこし、BBQを初めて会った人同士で協力してチャレンジし助け合いの心、人を思いやる心、地域を思う心を養って頂きました。自分たち何の為にJCをやって行くか再認識した事業となり、メンバー一人ひとり学べる事業ともなりました。

活動報告11月①

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

挑
戦



2023年11月23日新宮JC杯中学新人サッカー大会をヤタガラスサッカー場で開催させて頂きました。本年度52回を迎えた本事業、少子化によりチーム数も少なくなってきましたが、開催に際してご尽力頂いたチーム関係者の皆様のお陰で盛会になりました。これからも新宮青年会議所は地域の青少年育成に挑戦してまいります。

活動報告11月②

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



世界会議チューリッヒ大会がスイスの地で開催され、新宮青年会議所メンバー梅村英義君が和歌山ブロック協議会会長予定者として参加され、世界総会やJAPANKNIGHTに参加され、世界のメンバーと交流を持たれました。また、新しい世界のリーダーがJCIJAPANより選出されました。

活動報告11月③

～未来を切り拓く
JAYCEEとして～



和歌山ブロック協議会2023年度卒業式ならびに大総括に参加させて頂きました。本年度卒業生の中より和田理事長、竹内副委員長が登壇され竹内副委員長が新宮JCを代表して挨拶させて頂きました。

このような素晴らしい設をして頂いた和歌山ブロック協議会役員の皆様、担当委員会の皆様、誠にありがとうございました。

LOM卒業式も控えていますが、新宮JCはまだまだやる事山積み。皆んなで力を合わせて挑戦していきます。

活動報告12月



新宮青年会議所12月例会忘年例会がホテル浦島にて開催され、多くのシニアクラブの皆様のご参加の元、最後の例会が開催されました。その中で、理事長所感や委員長所感が読み上げられ、LOM内褒賞としてまちづくり委員会青沼委員長が選出されました。皆様1年間お疲れ様でした。

他団体への協力 タンカクフライデナイト



～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

**挑
戦**

他団体への協力 那智勝浦福祉健康祭り への参加



～未来を切り拓く
JAYCEEとして～

挑 戦

理事長所感

一般社団法人新宮青年会議所
理事長 和田 祐幸

本年度の理事長の御指名を頂いた時、正直言って不安でしかありませんでした。委員長は引き受けてもらえるのか、三役の構成はどうして行くか。若い世代を育てるにはどうすれば良いか。私はハッキリ言ってまともな人間ではありませんし、難しいところから逃げる事しか出来なくて、何でも長続きしなかった私は理事長なんて出来るのか。今だにその事を頭の中でハンスウしております。

ここにいる現役の皆さんの顔を見ると今年1年の事が昨日のこの様に思い出されます。専務理事として、総務拡大の担当として私を支えてくれた宮本専務、感謝と謝意しかありません。難しい委員会運営とLOMの運営、対外団体との伝達役と、あなたしか出来ない事に私は甘えてしまったかも知れません。ですが、今年1年、あなたが女房役になって頂いた事で成立しました。本当にありがとうございます。これからは私が恩返しをさせていただきますので、遠慮なくなんでも言って下さい。

まちづくり委員会担当として、今年のまちづくり委員会をそのポテンシャルで引っ張って筆頭副理事長として支えてくれた宮本睦美君、当初不安で仕方なく、どうしようどうしようと右往左往していた貴方が、新宮JCをひとつにしてくれました。次年度理事長を引き受けてくれた時も相当悩んだと思います。でも貴方には人を惹きつける魅力があります。もっと自信を持って、貴方にしか出来ない55周年を楽しんで下さい。

青沼委員長率いるまちづくり委員会の皆様、1年を通して現状新宮JCエリアの課題点を探求して、まちづくり事業に励んで頂き感謝申し上げます。仲之町アーケードの塗装やメイン事業に向けた例会事業、どうなるかと思ったメイン事業、委員会メンバーの皆さんが委員長の手を引っ張っている印象がありますが、青沼委員長だから皆んなが集まってあれだけの事が出来たんだと確信します。

米川委員長を始めとする総務広報拡大委員会を始めとする皆さんには、広報と会員の拡大、青少年事業、例会セレモニーと担って頂きました。社業忙しく思い通りに活動が出来なくて、悔しい思いを沢山したと思います。僕の生き写しの様な米川委員長が掘って置けなくて厳しい事も言ったかも知れません。すみませんでした。

両委員長が担いを引き受けてくれて、それぞれ負担もかけたと思いますが、一つ約束してください。どうせなら、さらにJCをやってください。お2人なら出来ます。周りの仲間感謝の気持ちと何のためにJCをやるかを決めたらもっと素晴らしい地域のリーダーになれると確信します。感謝お礼申し上げます。またお酒飲みに行きましょう。酔いすぎたらごめんなさい。直前理事長として支えてくれた梅村君、組閣から何から相談して同級生という事もあり甘えまくりましたが、友として横にいてくれてありがとうございました。

外部監事のお二人には、監査としてだけでなく、良き相談役としても活動をして頂きました。会計監査が始まってくる時期ですが、専務が現状数字は合っていると行ってましたので、年末まで申し訳ありませんが、宜しくお願い致します。

そして、中納代表監事を始めとするシニアクラブの皆様、みなさまから見れば心配と不安でしかない1年であった時思いますが、1年間、現役を支えて頂き、誠にありがとうございました。来年度、55周年の節目の年となります。心配やお気持ちもあるかと思いますが、引き続き温かく新宮青年会議所現役メンバーを見守って頂けますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今年1年間の総括として、皆様に助けて頂き、支えて頂いくばかりになってしまいましたが、先輩方が行われてきた明るい豊かな社会の実現に向けた事業や年度に私たちが少しでも肩を並べられていれば幸いです。地域の課題を率直に追求して55周年来年度に向けて、新たな1年を直前理事長としてLOMと地域に恩返しをして行きたいと思っております。1年間ありがとうございました。

委員長所感

総務広報・拡大委員会
委員長 米川 一弥

委員長なりまもなく1年になります。昨年の10月ごろに和田理事長よりご指名をいただきました。JCに入会して1年目で右も左もわからないまま引き受けました。当時は例会や総会についてもよく分かっていませんでした。そんな中、迎えた1月総会では段取りの悪さや、不備等によりメンバーにはご迷惑をおかけすることもありました。しかし、和田理事長、宮本専務をはじめ青年会議所メンバーのサポートがありなんとか総会を終えることができました。3月には、松原先輩、鈴木先輩をお招きし、JC活動での体験談などをお話ししていただきました。お二人とも周年を担当された理事長であり、来年55周年を迎えるにあたりとても勉強になりました。

8月には2回目の総会でした。至らぬ点もありましたが1月総会に比べると成長を感じられたと思います。

11月にはJC杯を担当しました。この大会は私自身も参加した大会で、思い出のある大会となりました。サッカー関係者の皆様とは長い付き合いで、いい大会にしようと考えていましたが、思ったような事業ができず悔しい思いをしました。

そして本日12月忘年例会を迎えました。委員長になってから1年弱が経ちました。

今まで色々なことをやってきて、全てそれなりにはうまくやってきました。しかしJCでは不手際も多く、うまく行かないことも多くありました。JC歴の浅さや、若さを言い訳にしたいくなりますが、これから会社を経営していく上で、貴重な経験になると思います。

来年も理事メンバーとして活動して行きます。今年を経験を無駄にせず、新入会員が入会した際は自身の経験や失敗談を伝えて行きたいと思います。

最後に、私を委員長に指名してくださった和田理事長、担当副理事長としてサポートしていただいた宮本専務をはじめ、メンバーの皆様に感謝申し上げます。

簡単ではございますが、私の委員長所感とさせていただきます。

ありがとうございました。

最後に、私を委員長に指名してくださった和田理事長、担当副理事長としてサポートしていただいた宮本専務をはじめ、メンバーの皆様に感謝申し上げます。
簡単ではございますが、私の委員長所感とさせていただきます。
ありがとうございました。

委員長所感

まちづくり委員会
委員長 青沼 徹明

まず初めにまちづくり委員会委員長を任せて頂きました和田理事長ありがとうございました。今年1月間を通して、メイン事業に繋がるような事業をして来ました。2月担当例会事業では小学生でも火起こしが出来るか、楽しんでもらえるかなどを考えながら自分たちで火起こし体験をしました。4月は安達先輩に講師に来て頂き、ボーイスカウト活動の事やメイン事業のテーマである利他の精神について話して頂きました。

6月は商店街のアーケドの柱を仲之町商店街の方たちや子供数名と一緒に塗装しました。9月はスムーズにテント設営を教えられるように、自分たちでテントを設営し、飛雪の滝キャンプ場の周りにフォトロゲイニングのチェックポイントとして良いポイントがないか、子供達が行っても危なくないかなどを考えながらフォトロゲイニングをしました。そして10月のメイン事業では串本から三重県の熊野市までの小学6年生を対象に飛雪の滝キャンプ場でキャンプ事業をしました。メイン事業では最初議案書がなかなかできず和田理事長や宮本睦美副理事長には心配をおかけしました。

竹内副委員長には議案書作成など色々と手伝って頂き、小さなお子さんがいるのにとてご迷惑をおかけしてしまいました。しかし、和田理事長や委員会の皆様に助けて頂きながら、メイン事業では子供たちに怪我もなく、成功させる事ができました。子供たちの笑顔や親御さんからの褒めの御言葉でメイン事業の委員長を出来て良かったなあと思いました。この1年間を思い出すと委員長としてリーダーシップを取って引っ張って行くと言うような事はあまり出来ず、委員会の皆に引っ張ってもらうような頼りない委員長だったのではないかと思います。和田理事長やまちづくり委員会の皆に助けられてばかりの1年でしたが、委員長をさせて頂いて貴重な経験ができ、少しは成長できたのではないかと考えております。来年以降も青年会議所運動に邁進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

以上です。ありがとうございました。

最後に

挑戦とスローガンを掲げ活動していく中で、地域課題を率直に解決していくと言う事が地域の皆様から必要とされる団体のあるべき姿ではないでしょうか。青年会議所しかできない事業や自分たちの目的である「明るい豊かな社会の実現」は諸先輩がたの願いであり、私達の願いでもあります。

今後とも新宮青年会議所に対してのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。